

発生日時	平成 26 年 5 月 21 日 (水) 11 時 30 分			
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	水田損傷
事故概要	水田に面した高水敷内道路を巡視中、脱輪し、水田内にタイヤ跡をつけ、苗を損傷させたもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損傷			

事故発生状況



・降雨の中、一般巡視のため農道を走行中、右側路肩に雑草が繁茂しているため、右側に注意を傾注しすぎ、路肩のない箇所では左前輪を水田に脱輪した。脱出のため水田内で前進後進を繰り返したが脱出出来ず、前方には揚水施設があるので後方の農道を利用して脱出した結果、水田を約1m幅で46mの長さにわたり水田を損傷した。



【事故発生原因】

- ・運転手の右側確認不足など

【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底
- ・周辺確認の徹底など

発生日時	平成 26 年 5 月 27 日 (火) 7 時 20 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	第三者車両(2台)損傷
事故概要	道路建設工事に伴い、雨水管を埋設し、アスファルト舗装をかけたが、舗装が陥没し、そこを通行した第三者の車両が2台損傷したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損傷			

事故発生状況



・道路建設工事に伴い、道路建設予定地を横断していた市道の切り回しを実施し、切り回した道路の下に雨水管を埋設して、アスファルト舗装をかぶせた。

・雨水管埋設部のアスファルト舗装が陥没し、そこを通行した第三者の車両が2台損傷した。

・地上のU型側溝と埋設管の接続部分から雨水が浸透し、アスファルト舗装下の土砂が流れたと考えられる。

【事故発生原因】

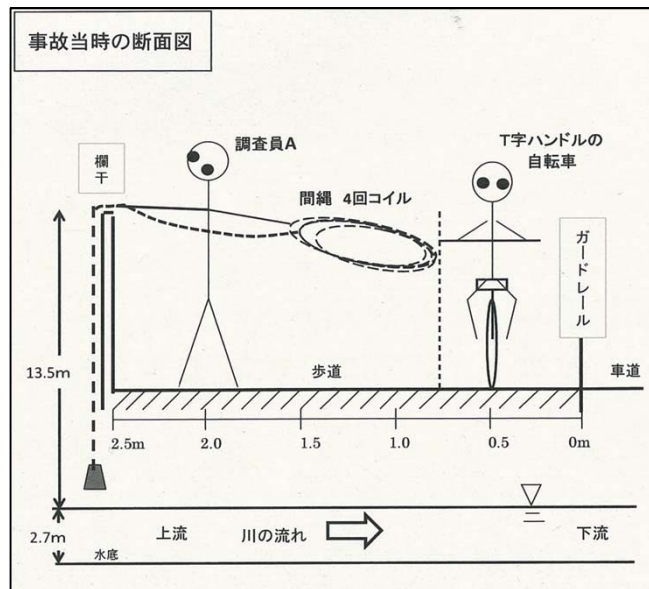
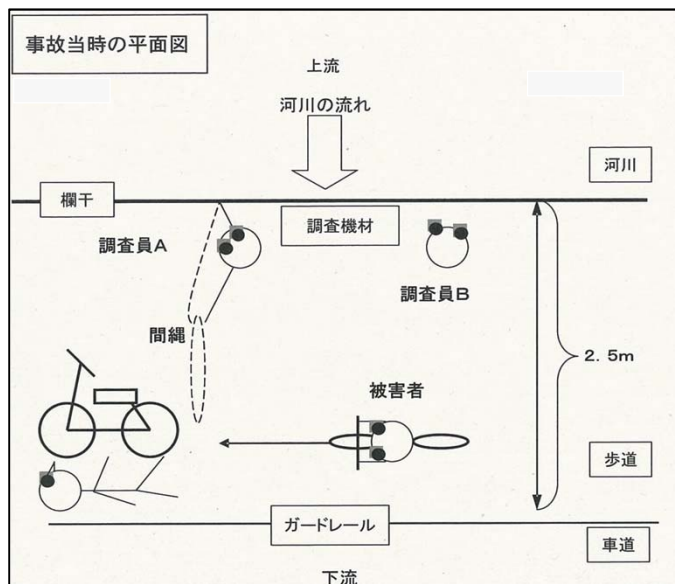
・雨水管埋設の施工管理不足
など

【事故防止のポイント】

・埋め戻しを行う前に、施工が適確に実施されているかどうか確認を行う。
など

発生日時	平成 26 年 7 月 2 日 (水) 8 時 15 分			
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	女	42	第三者	
事故概要	橋梁の歩道部において、河川の水深を測定していた際、使用した間縄が第三者の運転する自転車に接触し、転倒・負傷したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・水質調査の際、橋梁の歩道部において、水深の測定を実施した後、水深の測定で使用した間縄を、引き上げながら束ねて回収している途中、間縄を束ねていた手を伸ばしたところ、束ねた間縄が第三者の運転する自転車に接触し、転倒・負傷(左肘すり傷)した。

・調査員は2名おり、調査員Aが水深測定、調査員Bが水面観察と通行者等に対する周辺監視を行っていた。

【事故発生原因】

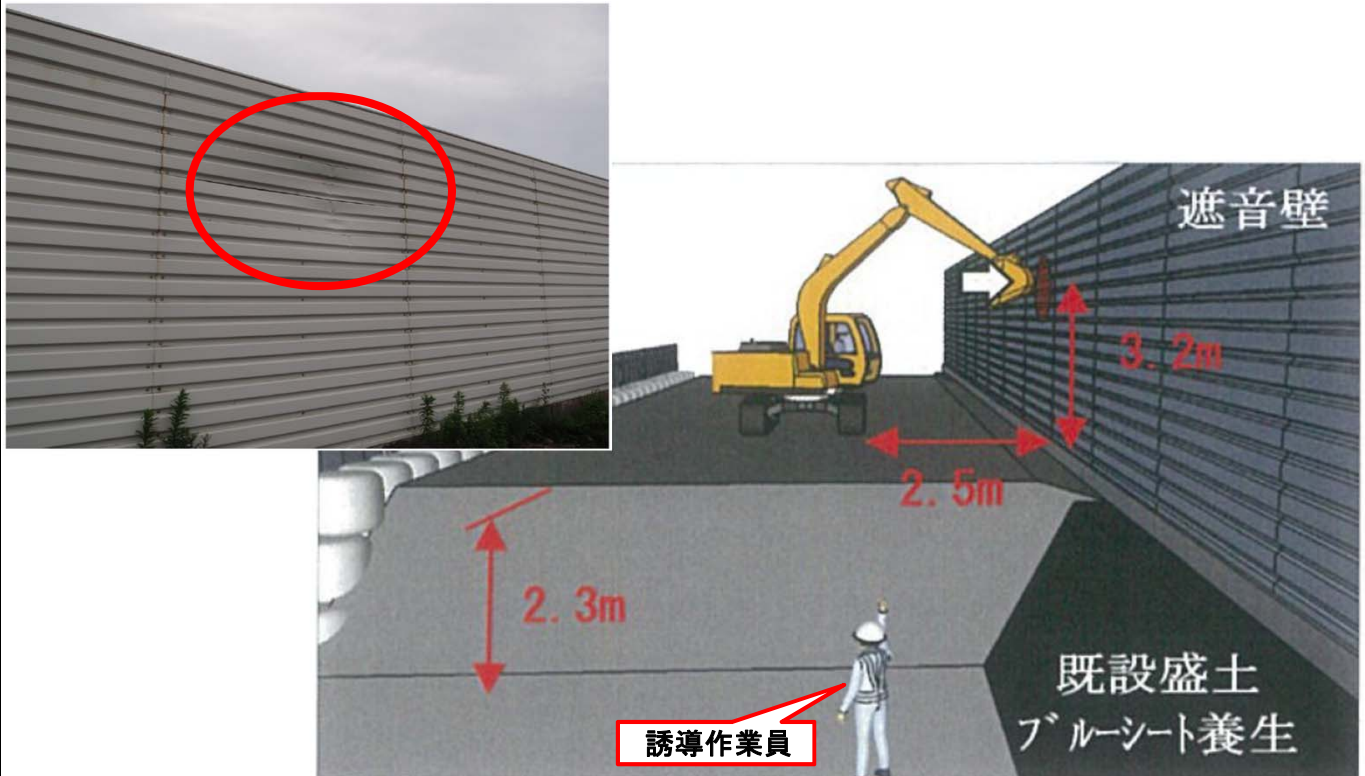
・第三者への注意が不足
など

【事故防止のポイント】

・通行者等の監視を行い、通行者が通過する際は作業を一時中断する。
など

発生日時	平成 26 年 7 月 10 日 (木) 16 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	高速道路の防音パネル損傷
事故概要	土砂のかき上げ作業をバックホウにて実施していた際、バックホウのバケットが付近にあった高速道路の防音パネルに接触し、損傷させたもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・発生土の受取作業実施中、バックホウ運転手が誘導作業員に現在のダンプ台数を確認するため、バックホウのブームを起し、エンジンをかけた状態で運転席の前面ガラスを開けて身を乗り出した。

・その際、左太腿がアームの操作レバーに誤って触れたため、アームが動き、隣接の高速道路の遮音壁化粧パネルにバケットが接触、損傷させた。

【事故発生原因】

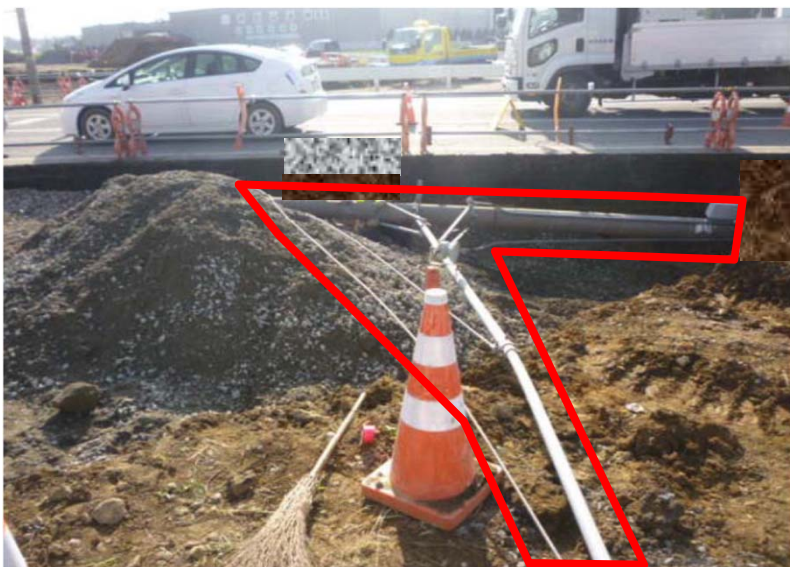
- ・既設構造物に対する注意喚起が不足していた
 - ・ロックレバーを作動させていなかった
- など

【事故防止のポイント】

- ・運転席を離れようとするときは、バケットを下げて、ロックレバーを作動させる。
 - ・既設構造物の注意喚起措置の実施
- など

発生日時	平成 26 年 10 月 24 日 (金) 13 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両2台損傷
事故概要	交差点拡幅工および路床置換工に伴う掘削作業を行っていたところ、信号車両感知器が柱ごと転倒し、交差点に停まっていた一般車両2台に接触、損傷させたもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・交差点拡幅工および路床置換工に伴う掘削作業を行っていたところ、警察所有の車両感知器および二輪車専用押しボタン付きのコンクリート柱を転倒させた。

・転倒したところ(交差点)に、一般車両(4t貨物車、普通乗用車)が停車しており、接触し、損傷させた。

【事故発生原因】

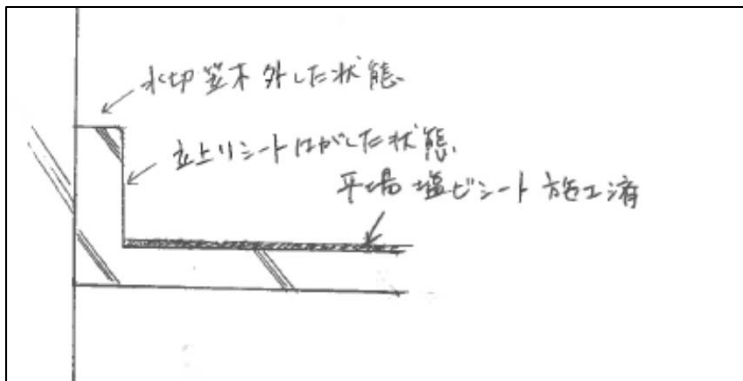
・柱の転倒防止対策を講じていなかった
など

【事故防止のポイント】

・掘削範囲に既設構造物が近接している場合は、その影響をよく検討し、必要に応じて、対策を講じる
など

発生日時	平成 26 年 11 月 25 日 (火) 19 時 0 分			
工事情報	営繕系事務所 暖冷房衛生設備工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	漏水
事故概要	屋上での防水工において、施工が完了しないまま放置をし、その後の降雨により建物内が漏水したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・建物屋上において、水切り金物等の取り付け作業を実施。

・使用する水切り金物が全て納入されなかったため、水切り笠木取り外し作業に移行した。

・水切り笠木取り外し作業完了後、水切り金物が納入されたため、水切り金物の取り付け作業に取りかかり、途中で作業時間が終了した。

・その後、降雨があり、建物内で漏水が確認された。漏水は水切り笠木取り外し箇所から発生していた。

・水切り笠木取り外し箇所は、シート養生等実施していなかった。

【事故発生原因】

・シート養生を行わず、作業を終了し、放置した
など

【事故防止のポイント】

・作業を途中で終了させる場合は、休工時の影響を考慮して、必要な措置を講じる
など

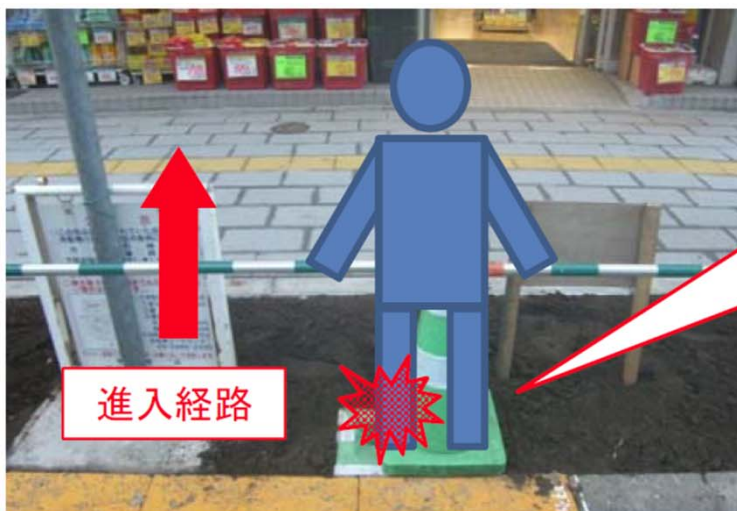
発生日時	平成 26 年 11 月 27 日 (木) 12 時 45 分			
工事情報	道路系事務所 As舗装工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	51	第三者	左足関節靱帯損傷(全治3週間)
事故概要	横断防止柵設置のための基礎ブロックを設置後、カラーコーンおよびコーンバーにより侵入防止措置のための養生をしていたが、第三者が基礎ブロック開口部に足を引っ掛け負傷したものの。 公衆損害ー第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・新設した植樹帯の中に、横断防止柵基礎を設置し、カラーコーンとコーンバーで侵入防止措置を行っていた。

・そこを第三者が通り、基礎の開口部に足を引っ掛け、負傷した。



被災者はサンダル履きで植樹帯に進出したため、土で汚れるのを嫌い、基礎ブロックに足を乗せたと思われる。

【事故発生原因】

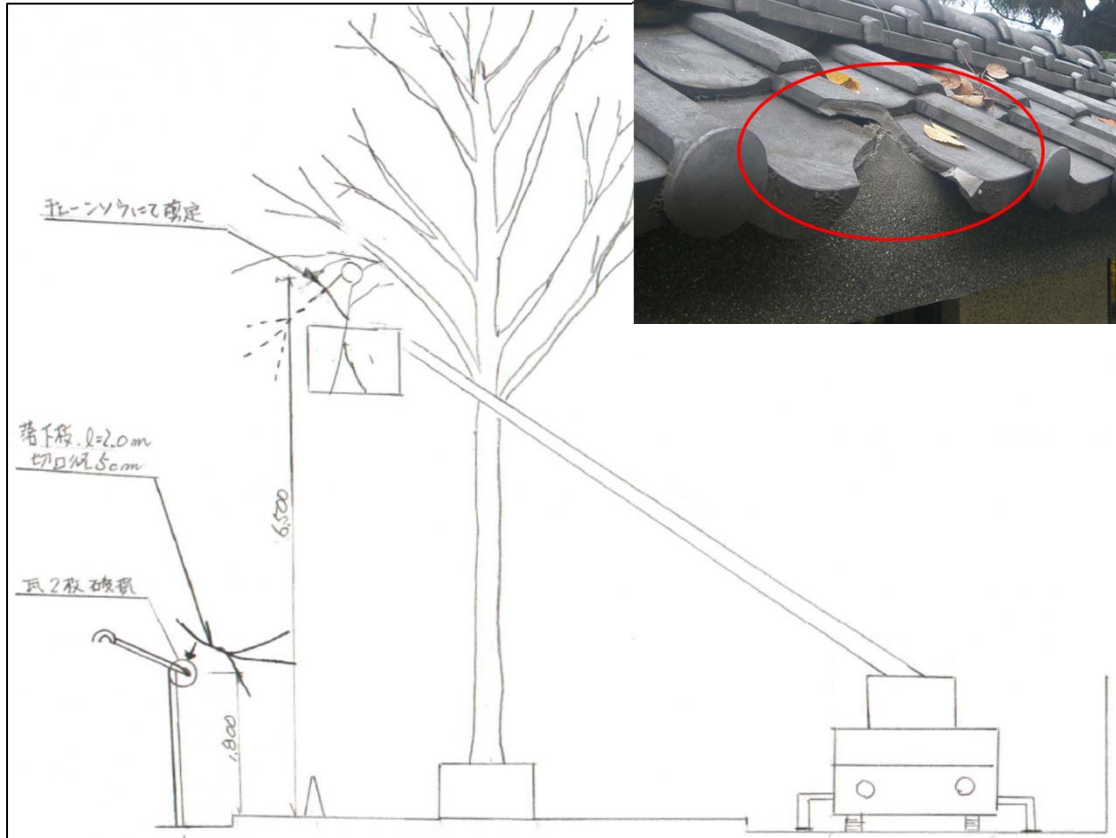
- ・第三者への注意喚起不足など

【事故防止のポイント】

- ・第三者への注意喚起を十分に行い、開口部などは塞いでおくなど

発生日時	平成 26 年 11 月 28 日 (金) 11 時 15 分			
工事情報	道路系事務所 造園工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	民家の塀の瓦2枚破損
事故概要	歩道上にある街路樹の剪定作業を行っていたところ、剪定した枝が近接していた民家の塀の上に落下し、瓦2枚を破損させたもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・高所作業車を使用して、歩道上にある街路樹（高木）の剪定作業をチェーンソーを用いて、実施していた。

・剪定した枝は作業帯内に落とそうとしたが、民地寄りに落下してしまい、民地の塀の瓦にあたり、2枚破損させた。

【事故発生原因】

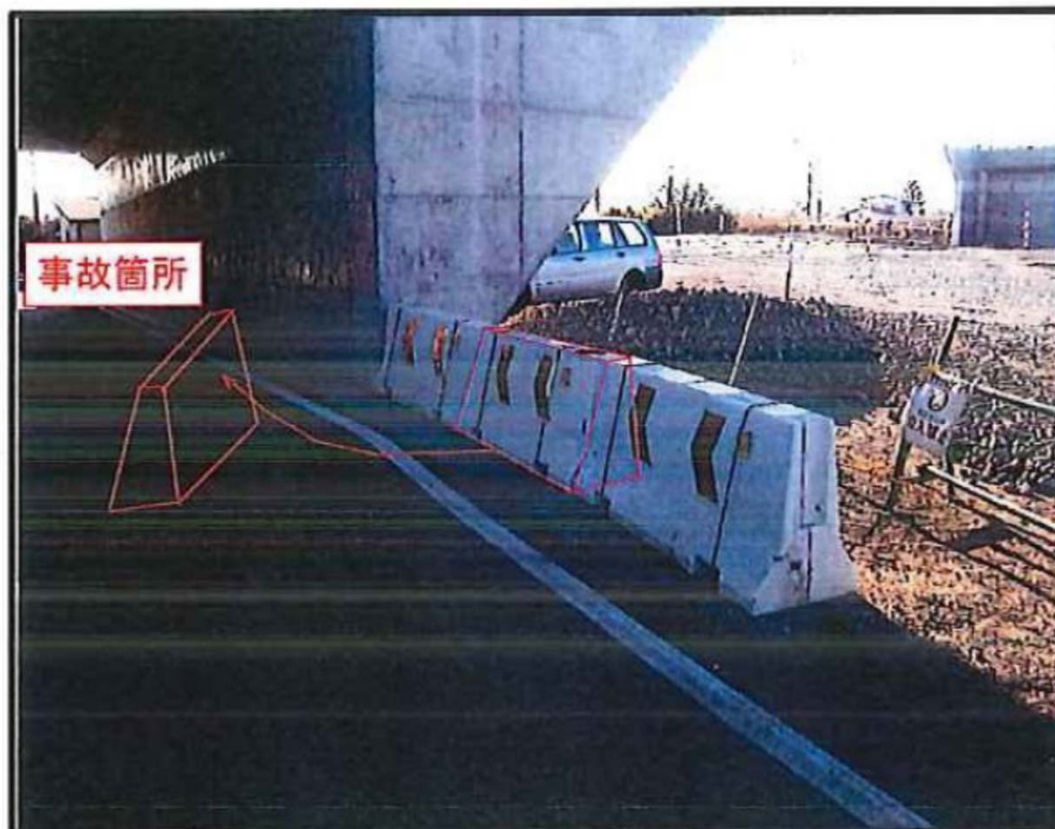
- ・近接構造物に対する安全管理不足など

【事故防止のポイント】

- ・作業帯外に剪定した枝が落下しないように注意を徹底するなど

発生日時	平成 27 年 1 月 6 日 (火) 20 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両損傷
事故概要	道路沿いに設置されていたバリケードが強風により移動し、通行していた一般車両と接触したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



- ・道路沿いに並べて設置してあった樹脂製バリケードが、突風により車道の上に押し流され、走行してきた一般車両（軽乗用車）と接触。
- ・一般車両の前面に接触痕と凹みが生じた。
- ・人的な被害はなかった。

【事故発生原因】

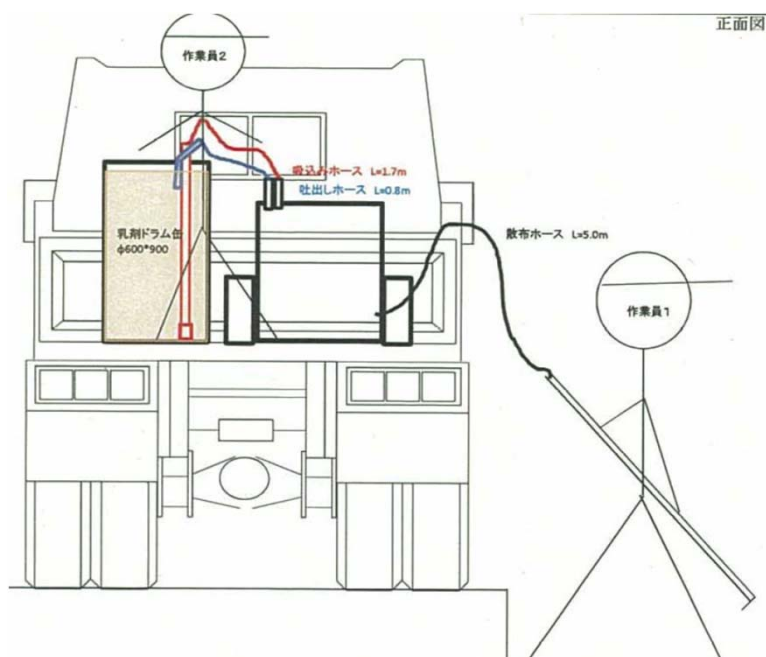
- ・強風対策が不足など

【事故防止のポイント】

- ・強風で飛散する可能性がある場合は、十分な固定や連結を実施するなど

発生日時	平成 27 年 1 月 19 日 (月) 22 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両にアスファルト乳剤が飛散
事故概要	アスファルト舗装作業中、現場付近を通行した一般車両にアスファルト乳剤が飛散したと当事者より連絡があったもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・アスファルト舗装の乳剤散布作業を実施していた。

・一般者から、工事箇所付近を走行した際、黒いシミが付着したと申し出があった。

・アスファルト乳剤の片付け作業中、乳剤ドラム缶からホースを抜いた際に、飛散したことが原因として可能性がある。



【事故発生原因】

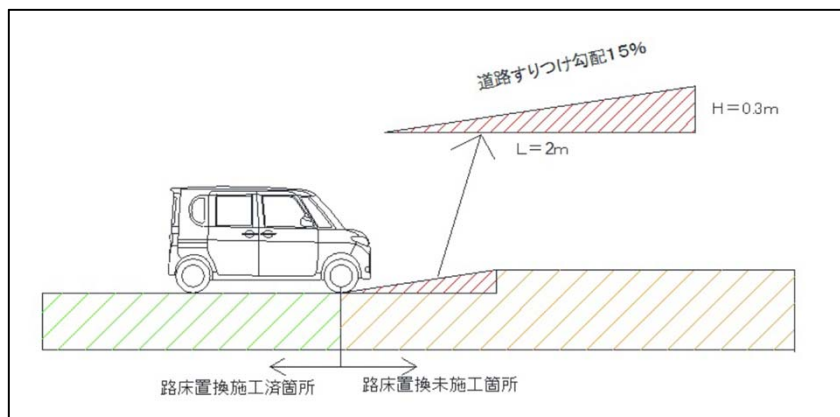
・飛散防止措置をしていなかったなど

【事故防止のポイント】

・飛散防止対策を実施して、作業を行うなど

発生日時	平成 27 年 2 月 11 日 (水) 9 時 30 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	一般車両損傷
事故概要	道路予定地内の工事用道路を、一般車両が通行したところ、途中の段差で車両底部が接触し、オイル漏れが発生したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・被災者が工事箇所に隣接する耕作地へ行くため、工事用道路入口の作業員に声をかけ、工事用道路での作業は行っていないなかったため、単管バリケードを作業員が開放した。

・工事用道路を走行していたところ段差に気が付かず、通行した際に車両の前面底部が段差すりつけ部に接触損傷し、オイル漏れがおきた。

【事故発生原因】

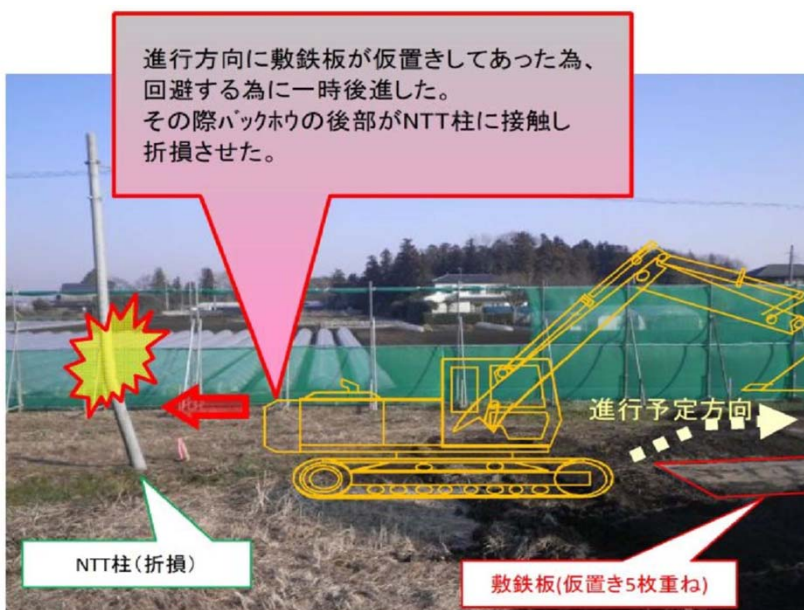
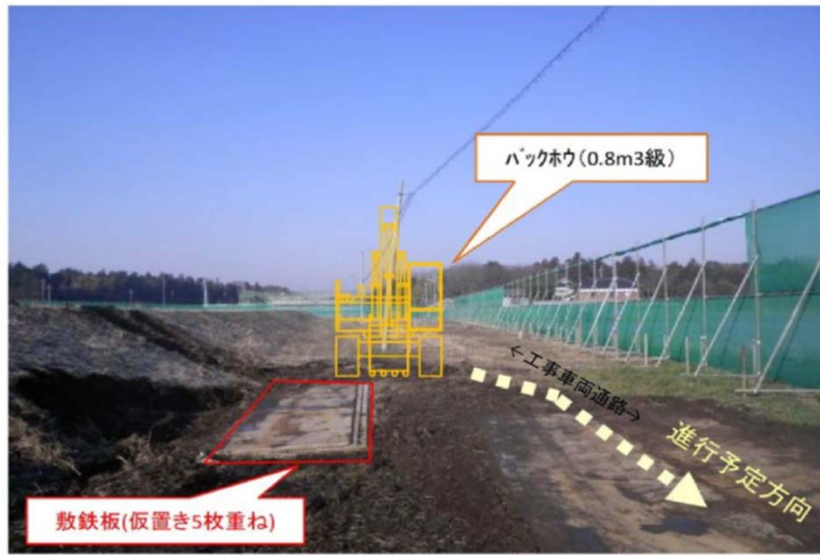
- ・一時通行者への注意喚起不足など

【事故防止のポイント】

- ・工事エリア内に第三者を通す場合は、十分な注意喚起を行うなど

発生日時	平成 27 年 2 月 12 日 (木) 8 時 10 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	NTT柱損傷
事故概要	現場内をバックホウが自走していたところ、NTT柱に接触し、損傷したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・バックホウを前日の作業終了時に駐車した場所から当日の施工箇所へ移動する際、バックホウ右側前方に敷鉄板5枚が重ねて仮置きしてあったので、回避して前方へ発進する為に一時後進した。

・その際、バックホウの後部が後方に位置していたNTT柱に接触し折損させた。

・架空線には影響なかった。

【事故発生原因】

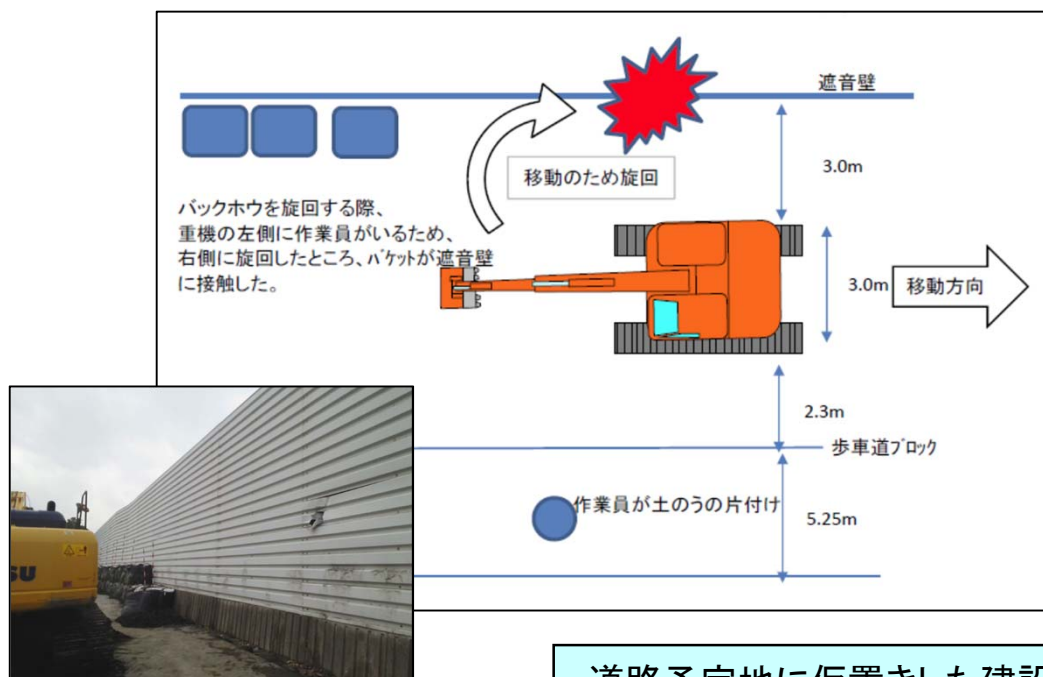
・近接構造物への注意不足など

【事故防止のポイント】

・既設構造物付近での重機作業における注意喚起を行い、必要に応じて目印表示等を実施するなど

発生日時	平成 27 年 2 月 24 日 (火) 11 時 25 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	
事故概要	遮音壁損傷			
	道路予定地に仮置きした土砂を搬出する際、バックホウのバケットが高速道路の遮音壁に接触し、損傷したもの。			
	公衆損害－第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・道路予定地に仮置きした建設発生土（高速道路遮音壁の基礎部を保護するために大型土のう袋に収納し設置していたもの）をバックホウにて撤去搬出する作業中、バックホウの位置を移動させるため運転席を旋回した。

・その際、首都高速道路の遮音壁外装板にバケットが接触し損傷させた。

・交通への支障はなかった。

【事故発生原因】

- ・近接構造物に対する安全管理不足など

【事故防止のポイント】

- ・既設構造物付近での重機作業における注意を徹底するなど